

R6年度提案募集課題

| No. | 課題 | 課題の概要・提案募集のねらい・実現したい姿 | 課題に関する背景・現状 | 募集期間 | 関連URL・参考資料 |
|-----|-----------------------------------|---|--|-----------|---|
| 1 | 発達に課題を抱える児童の通学や通所の支援 | 発達に課題を抱える児童等が通学などの支援に利用する「移動支援事業」について、利用時間帯の朝と夕方は、介護を必要とする障害者・高齢者と送迎の時間帯と重なっているため、支援にあたるヘルパーが不足し、利用のマッチングが難航するケースが多い。既存の仕組みの活用も引き続き検討するが、今回、就労するご家庭の保護者と子どもが安心して通学や学童クラブ等を利用できるよう、企業や大学、NPO団体など新たな支援の担い手を開拓したい。 | 障害者・高齢者の支援に関する福祉人材が不足しているため、利用希望者のニーズを充足することが困難になっている。そのため、既存の福祉人材によらない資源の活用により、子育て家庭のニーズを充足したい。 | 令和7年3月31日 | 千代田区ホームページ「移動支援事業」 https://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/kenko/shogaisha/techo/zaitaku-nichijo-shien/shienjigyo.html |
| 2 | 区内における食品ロスの削減に向けた取り組みの推進 | 区内における食品ロスの削減に向けた施策の提案を募集する。 | 食品ロスとは、本来食べられるにも関わらず廃棄される食べ物のことであり、国内においては食品の生産、製造、販売、消費等の各段階において、大量の食品ロスが発生している。在住区民に加えて、業務機能が集中し、約85万人の昼間区民を抱える千代田区にとっても、食品ロスの削減は区民・事業者・区が協働して取り組むべき喫緊の課題となっている。 | 令和7年3月31日 | 千代田区ホームページ「食品ロス」 https://www.city.chiyoda.lg.jp/koho/kurashi/gomi/shokuhin-loss/index.html |
| 3 | ITリテラシー向上のための区民向け教材の開発及び生涯学習講座の実施 | 生涯学習を通じて区民のITリテラシー向上を図り、誰もがIT社会の利便性を享受し、SNS等による被害に遭わない社会の実現を目指す。特に「コンピュータサイエンス」「サイバーセキュリティ」「AI」の3つを重点分野とし、先進事例（英国の「サイバーファースト教育プログラム」、ヘルシンキ大学の「Elements of AI」等）を参考に教材の開発、生涯学習講座の実施を行う。 | 我が国のコンピュータサイエンス教育は、EUなどのIT先進国に比べると遅れており、進化の早いIT社会に対応するため、区民のITリテラシーの底上げを図っていく必要がある。コンピュータサイエンス教育は幼少期から義務教育課程において行うのが望ましいが、生涯学習の一環として成人に対して行うことも有効であると考えられる。 | 令和7年3月31日 | National Cyber Security Centre https://www.ncsc.gov.uk/cyberfirst/ ヘルシンキ大学「Elements of AI」 https://www.elementsofai.com/ |